

# しものせき Port News

令和3年12月  
Vol.21

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

## Contents

### 下関港新港地区（長州出島）

国際クルーズ拠点整備事業の進捗状況

### 下関港海岸（山陽地区）

20・21工区整備概要

みなとの歴史探訪～幕末の志士を支えた商人 白石正一郎の足跡～

### トピックス

官民合同レディースパトロールの実施

カイキョーソトアソビの開催

梅光学院大学での出前講座



新港地区国際クルーズ拠点整備事業が進捗（長州出島）

令和3年12月撮影



# 下関港海岸（山陽地区）

## 20・21工区整備概要

20・21工区背後の長府港町、長府松小田本町周辺では、過去の高潮により工場の操業停止や家屋の浸水などの大きな被害が発生しました。そこで、20工区ではブリヂストン下関工場の前面の護岸の嵩上げ工事を進めており、21工区では新川水門及び20工区と接続する胸壁・陸閘の工事を進めております。

### <位置図>



### <20工区>



#### 20工区全景

工場敷地と海が隣接するため、海側にL型ブロックを据付け、高潮による海水の浸水を防ぎます。



#### L型ブロック据付け

護岸本体の一部となるL型ブロックを土留壁背後に据付けます。

### <21工区>



#### 型枠組立て

鉄筋組立後、コンクリートを打設するための型枠を組立てます。



#### コンクリート打設

組み立てられた型枠内にコンクリートポンプ車にてコンクリートを打設します。



#### 21工区全景

高潮による海水の浸水を防ぐため、胸壁（コンクリートの壁）と車両などの出入りが可能な陸閘（開閉可能な門扉）を作ります。

## みなとの歴史探訪 ～幕末の志士を支えた商人 白石正一郎の足跡～

白石正一郎（1812年～1880年）は、下関 竹崎浦(現:竹崎町)の回船問屋「小倉屋」の長男として生まれ、国学に深い関心を持ち、高杉晋作、西郷隆盛、坂本龍馬など総勢400名を超える藩内外の志士たちを豊富な財力で支援した勤王商人です。西郷隆盛が正一郎のことを「温和で清廉実直な人物」と書き記すなど、維新の隠れた功労者と称されており、また、当時の活動を克明に記した「白石正一郎日記」でも知られています。

幕末の下関港は、北前船や九州各地の物資が集まる商港として大いに発展し、小倉屋は清末藩(長州藩の孫藩)や薩摩藩の御用商人として各藩を結ぶ交易を請け負っていました。正一郎は志士達の世話や資金援助を行い、白石邸は尊王攘夷運動に関する情報交換の拠点や潜伏先として活用されました。

特に、高杉晋作による1863年の奇兵隊結成に際しては、白石邸を本拠地として提供し、正一郎自身も弟とともに入隊し会計方を務めました。こうした多大な財政支援の結果、維新後に小倉屋の経営は傾くこととなり、正一郎は商売からは身を引き赤間神宮の二代目の宮司を務めながら静かに余生を送りました。



白石正一郎旧宅跡（下関市竹崎町）



白石正一郎邸門（下関市松小田本町）

### 白石正一郎邸浜門

白石邸の海側に面する門は「浜門」と呼ばれ、人目につきにくいことから、多くの志士は船で「浜門」から出入りしていました。

当時、白石邸は下関市竹崎町にありましたが、浜門は下関市長府松小田本町に移築・保存されています。

# トピックス

## 官民合同レディースパトロールの実施

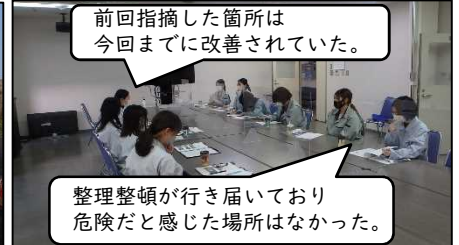
10月27日に現在工事中の下関港海岸9工区にて、本事務所と関門港湾建設(株)の女性職員による合同安全パトロールを実施しました。関門港湾建設(株)では、月に一度、女性目線での快適な現場づくりの一環としてレディースパトロールを実施しており、本事務所では今回初めての取組です。現場事務所や工事現場、快適トイレなどのパトロールを行い、その後のミーティングでは「今回の現場を見た限り3Kのイメージはない」など活発な意見交換が行われました。本事務所では今後も継続化していく予定です。



現場にて工事の説明



快適トイレの見学



事務所でのミーティング

## カイキョーストアソビの開催

10月29日～11月28日に「カイキョーストアソビ（主催：下関市海峡エリア賑わい創出実行委員会）」が開催されました。この取組は火の山公園や海峡沿いの魅力的な自然を感じながら、海峡エリアの魅力を見直すことを目的としています。あるかぼーと会場ではキャンプ体験、オモシロ自転車、釣り体験教室など、火の山会場ではアスレチック、ツリークライミングなどのアクティビティが開催され、連日会場には子どもたちの歓声が響き、秋のウォーターフロントに新たな彩りを添えていました。



キャンプ体験（あるかぼーと）



オモシロ自転車（あるかぼーと）



釣り体験（東港地区防波堤）

※写真：海峡エリア賑わい創出実行委員会提供

## 梅光学院大学での出前講座

下関市の梅光学院大学のPBL（Project-based learning/課題解決）型ゼミ（伊藤 道彦教授）では、文学部国際ビジネス専攻の3年生など14名が地元建設企業を訪問し、建設業の魅力伝える映像クリップを作成するなど、社会的な要請に応えることの大切さを学ぶ授業を行っています。今回、土木・建築業界の基礎を学ぶため古屋所長より「下関港とインフラ」と題した出前講座を実施しました。学生の皆さんは熱心に聴講されており、特に下関港の埋立ての変遷に関心を寄せられました。今後のゼミ活動の充実につながることを願っています。



出前講座のようす

### みなとで体験・学習しませんか？

下関港湾事務所では、みなと見学会や出前講座を行っています。お気軽に総務課までお問い合わせください！



〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1  
TEL(083)266-3291 FAX(083)261-1123  
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」  
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**  
受付時間：9:30～12:00・13:00～17:00（土・日・祝を除く）

ご意見・ご感想をお聞かせください。

